

**TTC標準**  
Standard

**J T - P 7 9**

**電話セットの  
ラウドネス値計算方法**

**〔 Calculation of loudness ratings for telephone sets 〕**

第 1.0 版

2004 年 4 月 20 日制定

社団法人  
**情報通信技術委員会**

THE TELECOMMUNICATION TECHNOLOGY COMMITTEE



本書は、(社)情報通信技術委員会が著作権を保有しています。  
内容の一部又は全部を(社)情報通信技術委員会の許諾を得ることなく複製、転載、改変、  
転用及びネットワーク上での送信、配布を行うことを禁止します。

## 目 次

< 参考 > .....	3
1 . 標準の概要 .....	4
2 . 本標準で規定する内容 .....	4

< 参考 >

1 . 国際勧告等との関係

本標準は、1999年9月に国際電気通信連合電気通信標準化部門（ITU-T）SG12 会合において勧告化されたITU-T勧告P.79に準拠している。

2 . 上記国際勧告等に対する追加項目等

2.1 オプション選択項目

特になし

2.2 ナショナルマター項目

特になし

2.3 原標準に対する変更項目

特になし

3 . 改版の履歴

版数	制定日	改版内容
第1版	2004年4月20日	制定

4 . 工業所有権

本標準に関わる「工業所有権等の実施の権利に係る確認書」の提出状況は、TTCホームページで御覧になれます。

5 . その他

(1) 参照する主な勧告、標準

TTC標準 : JT-P76, JT-P310

ITU-T勧告 : P.48, P51, P57, P64, P78, P340, G111

(2) 本出版は、具体的な規定内容を含んでいない。規定はすべて準拠元であるITU-T勧告によっている。

具体的な規定内容はITU-T勧告を参照する必要がある。

6 . 標準作成部門

網管理専門委員会

## 1．標準の概要

本標準は主として 180Hz～4500Hz の帯域幅を逸脱しないローカルの電話システムにおけるラウドネス値の計算方法について望ましい手法を述べたものである。電話セットにおいてラウドネス値を使用する目的は2つある。一つはネットワークにおいて電話セットがどのような特性を示すか、伝送系の設計者に適切な尺度を提供することである。もう一つは電話セット間の比較を明確に根拠をもって可能にすることである。本標準の新版に対する拡張は Annex G の追加である。これは標準にある汎用的なアルゴリズムの拡張で、広帯域(100Hz～8000Hz)における送信および受信ラウドネス値の計算において、係数 W の重み付けを定義した。

## 2．本標準で規定する内容

本標準で規定する内容は下記の ITU-T 勧告による。ITU-T 勧告中で参照している標準は表 1 - 1 に示す標準に置き換えるものとする。

ITU-T 勧告 P.79 : 「Calculation of loudness ratings for telephone sets」(09/1999)

表 1 - 1 本標準で置き換えて参照する標準

ITU-T 勧告中の参照先標準	本標準で置き換える標準
ITU-T 勧告 P.76(1988)	TTC 標準 JT-P76
ITU-T 勧告 P.310(2000)	TTC 標準 JT-P310